



PORSCHE

12. May. 2017

Vol.76/17

100万台目の911がラインオフ

ポルシェおよびスポーツカーのアイコンを祝うツッフェンハウゼン

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：オリバー・ブルーメ）の911は、公道を走るスポーツカーのアイコンであると同時に、ポルシェ ブランドを代表するモデルです。去る5月11日、ツッフェンハウゼンにおいて100万台目の911として1963年に発売された初代911の特徴を受け継ぐスペシャルカラー「アイリッシュグリーン」のカレラSが、ラインオフしました。911は、ポルシェが世界で最高の利益率を誇る自動車メーカーとしての地位を維持する上で大きな貢献をしています。

ポルシェ 監査役会会長の Dr.ヴォルフガング・ポルシェは、911の開発に最初からかかわってきました。「54年前、父と一緒に初めてグロースグロックナー峠を走りました。911で走る楽しさは当時と全く変わりません。それは、今でも911が1948年の初代ポルシェ 356/No.1と同様にブランドの中心だからです」

ポルシェ 911は新しいカテゴリーを確立し、高級スポーツカーセグメントの頂点であり続けています。2016年だけでも全世界でこれまでに最高の32,365台が販売され、数十年にわたってオンリーワンを維持し、コレクターズアイテムとなってきました。その高い品質はもはや伝説となっています。これまで製造された911全車両の70%以上が現在も走行可能です。さらに、米国マーケティング調査機関J.D.パワー社の「初期品質調査」(IQS)による品質ランキングでも常にトップを飾っています。無数のモータースポーツの成功によって神話が生まれました。一般公道とサーキットの両方のために設計され、911のような成功を収めているスポーツカーは他にはありません。およそ30,000回におよぶレースにおけるポルシェの優勝の半分以上がこのモデルで達成されました。911は、世界中で開催される多くのレースでモータースポーツファンを感動させています。

ポルシェは、初代911の基本コンセプトから逸脱することはありません。「私達は、スポーツカーに磨きをかけて完璧なものにするために911のテクノロジーを改善し続けてきました。それこそが、この車こそが革新的な技術そのものであり続ける理由です。私達は派生モデルによってモデルラインを拡張することにも成功しました」と、ポルシェ AG 取締役会会長のオリバー・ブルーメは述べています。

この成功の主な要因として911全車両が生産されるツッフェンハウゼン本社の生産拠点が挙げられます。911、718ボクスターおよび718ケイマンの全ての2ドアモデルと多彩なモデルバリエーションは、最新の生産工程によってひとつのラインで管理されています。組み立て作業員は情熱と知識を備えた作業のエキスパートで、1台1台のポルシェをブランドにふさわしい品質で納品することを約束します。ポルシェ AG 労使協議会議長のウーヴェ・ヒュックは、「911の成功を語る上でポルシェの従業員を欠かすことはできません。今日、100万台目の911を完成しました。自信をもって言える事は、私達が今でも最初の車と同じ情熱をもって911を製造していることです。近い将来、ツッフェンハウゼンで予定されているミッションE

の生産はポルシェの新しい時代を告げるものです。そして、このミッションを成功させるためには高度な技能を備えた意欲的な従業員を必要とすることは明らかです。911 が常にそうであったように、そしてこれからもそうであるように、ミッションEがエモーショナルな体験であることは彼らが保証します」と述べています。

100万台目の911はポルシェAGが保有しています。ポルシェミュージアムのコレクションに加えるまでワールドツアーを行い、スコットランド高地、ニュルブルクリンク周辺、そして米国、中国、その他多くの国を巡ります。

＜本件に関する読者からのお問い合わせ先＞
ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911
ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.com/japan/>